

事業者向け

自己評価表(2023年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		室内のスペースとして余裕を持って基準は満たしてはおりますが、子どもさんのエネルギーの発散、運動面から考えると、近隣の公園やスペースの有効活用を今後も考えていきたいと考えております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			今後、子どもさんの様子なども踏まえながら適切な支援が行える人員の増員も視野に入れながら行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所建物の構造上、難しい部分もあるのが現状です。しかしながら、段差の解消などできる範囲のところから取り組んでいきたいと考えております。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			子どもさん、保護者の方により良い療育を行えるように今後もPDCAサイクルをまわしていきながら検討をしていきたいと考えております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート評価を実施し、その結果を真摯に受け止めて改善に繋げていきたいと考えております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行うことができませんでした。しかしながら、今年度も地域の学校の先生に見学に来ていただくなど、オープンな事業所を作りたいと考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今後も研修などに積極的に参加していきたいと考えております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、課題、支援をしているか	○			日々の記録、ミーティングなどを通して、子どもさんの課題を客観的に捉え、保護者のかたとも共有をしていきたいと考えております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		検査の実施までは行えていない現状になります。しかしながら、検査などフォーマルな情報の読み取りや、項目などを意識しながら子どもさんの様子の把握に努めております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月活動プログラムをたて、子どもさんが楽しみながらスキルを学んでいけるような工夫をしております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			毎月新しい活動を取り入れております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		時間に限りがある平日の療育とは異なり、休日、長期休暇ならではの課題を設定している子どもさんはおられます。ただし、より細かな支援や課題設定に繋げていきたいと考えております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			各プログラムにおいても、すべての子どもさんに対して、同じではなく、アセスメントを踏まえた中で、必要に応じた配慮、支援を行っております。
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			前日と当日に確認をしております。
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			療育終了後にミーティングを行い、子どもさんの様子、支援の内容、活動内容などを振り返っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			電子媒体を用いて記録を行っております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行っているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			クッキング、工作、お手伝い、運動、言葉浴 び、外出などさまざまな活動を組み立て、 幅広いスキルの獲得を意識しております。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか		○		基本的に管理者が参加している状況です。 今後、より現場で接するスタッフも併せて参 加できるよう検討していきたいと考えており ます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っているか	○			保護者の方、必要に応じて学校に問い合 わせをする中ですり合わせを行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か		○		現在、医療的ケアが必要な子どもさんが在 籍しておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めているか		○		保護者を通しての情報共有にとどまってい るのが現状となっております。今後より良い 共有方法などを模索していきたいと考えて おります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか		○		成人期への移行をされる子どもさんが在籍 しておりませんでした。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか			○	今年度は、児童発達支援センター主催の 研修に参加ができませんでした。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか		○		新型コロナウイルスの影響もあり、児童クラ ブ等との交流の機会がモテませんでした。 地域の子どものさんとは、近隣の公園や、外 出先のイベントなどで一緒に活動を行って おります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか	○			管理者が出席をし、グループワークなど でも地域の課題に対して検討を行いました。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	○			保護者の方にとつて連絡の取りやすい方 法(LINEなど)を用いて日頃の連絡など を行い、必要に応じて、電話対応、面談を行 ないました。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングは実施できておりません。それぞれの課題となる行動に対して、保護者の方と相談をしながら具体的な対応を考えております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、実施に向けて検討を行っております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		情報の発信が少ない一年になってしまいました。今後、情報発信について課題を設定し、進めていきたいと考えております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施に向けて検討をしていきたいと考えております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		より現状に即したマニュアルの作成と、保護者の方への周知を行なっていきたいと考えております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月の避難訓練の実施、本年度は消防フェスなどにも参加しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を行う場面がありませんでした。今後も引き続き、前もっての支援を行っていきたいと考えております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者との情報共有にとどまっています。指示書の提出なども検討していきたいと考えております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			